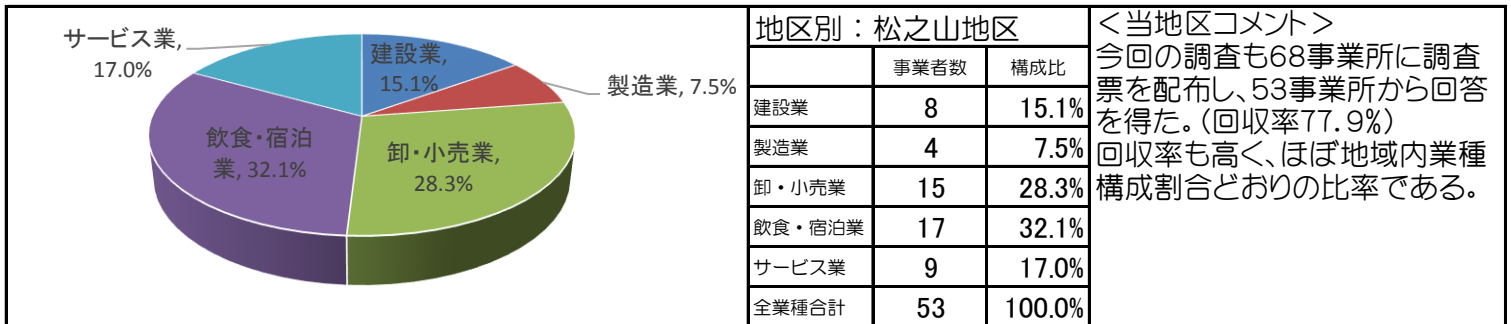
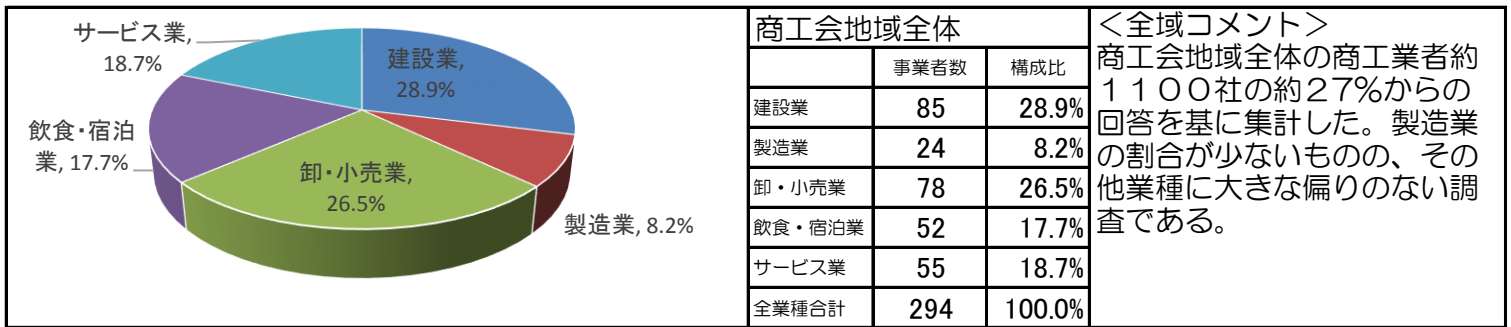


十日町市商工会地域 企業景況調査 第3四半期報告書 (H28.10.1~H28.12.31) 松之山地区

小規模事業者以外含む全事業所

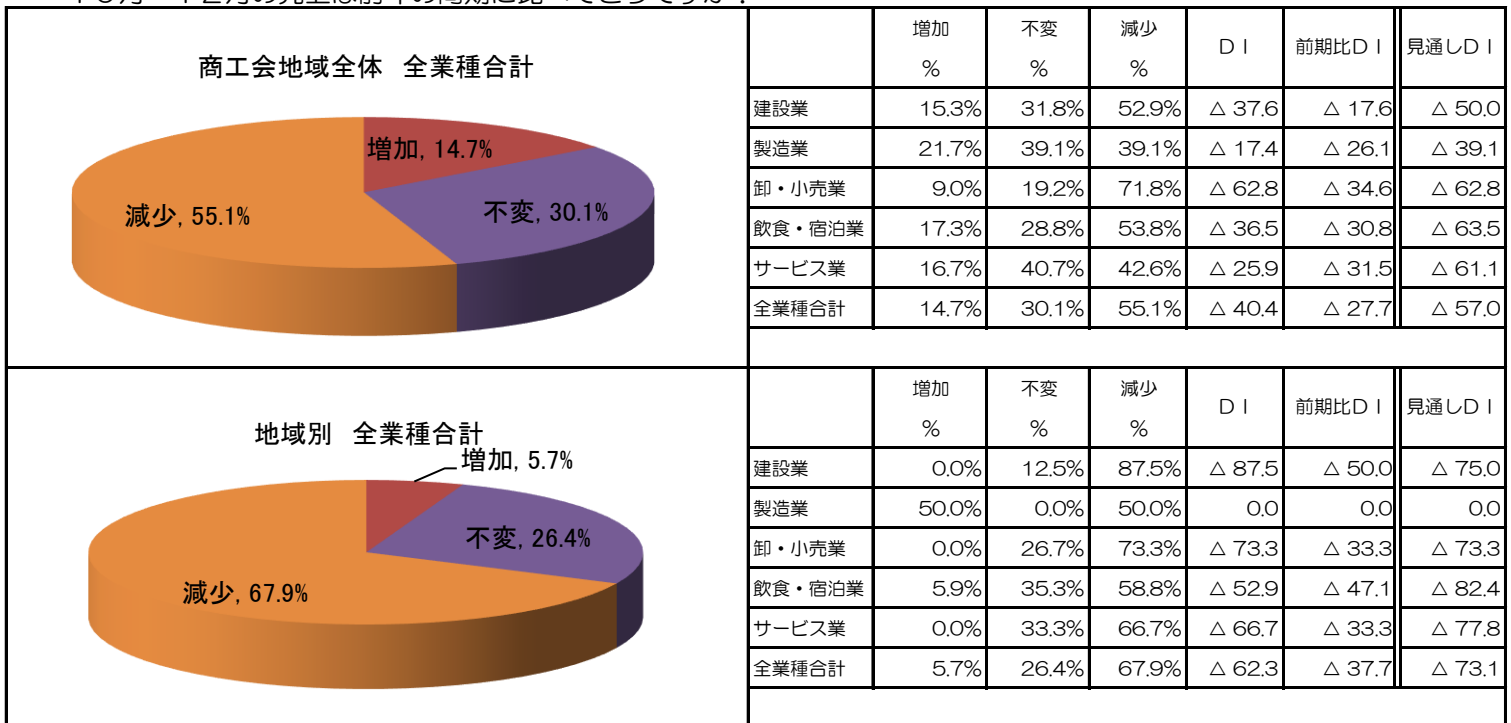
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

1. 売上について

・10月~12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



＜全域コメント＞ 売上は、前年同期と比べて全業種△40.2ポイント減少。特に、卸・小売業は△62.8ポイントと大きく減少。前期比でも、建設業の減少幅が小さいだけで、全業種で△27.7ポイントと減少。今後の見通しでは、冬場を迎える当市内の地域特性でもあるが、全業種△57.0%減少予想である。

＜当地区コメント＞ 当地域の売上は、前年同期比で△62.3ポイントと回答があり、建設業が△87.5ポイントと大きく減少を示している。製造業は0ポイントであるが、その他の業種全てで市内全体数値よりもマイナスポイントを示している。今後の見通しでも、製造業以外の業種全てで高いマイナスポイントが出ており、売上減少を予想している。4月からの調査全てにおいて売上減少が続いており、今年度の地域全体の売上減少が予想される。

2. 採算について

・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		16.5%	40.0%	43.5%	△ 27.1	△ 15.3	△ 50.0
	製造業		17.4%	47.8%	34.8%	△ 17.4	△ 27.3	△ 39.1
	卸・小売業		5.1%	30.8%	64.1%	△ 59.0	△ 41.0	△ 59.0
	飲食・宿泊業		15.4%	28.8%	55.8%	△ 40.4	△ 38.5	△ 63.5
	サービス業		14.8%	42.6%	42.6%	△ 27.8	△ 27.8	△ 51.9
	全業種合計		13.0%	36.6%	50.3%	△ 37.3	△ 29.6	△ 54.3
地域別 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		12.5%	25.0%	62.5%	△ 50.0	△ 37.5	△ 62.5
	製造業		25.0%	75.0%	0.0%	25.0	0.0	0.0
	卸・小売業		0.0%	40.0%	60.0%	△ 60.0	△ 40.0	△ 80.0
	飲食・宿泊業		5.9%	23.5%	70.6%	△ 64.7	△ 64.7	△ 82.4
	サービス業		0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 44.4	△ 66.7
	全業種合計		5.7%	34.0%	60.4%	△ 54.7	△ 46.2	△ 71.2

<全域コメント> 採算は、前年同期と比べて全業種△37・3ポイント減少。特に、卸・小売業では△59・0ポイント減少と大きく悪化。前期比でもこの傾向は変わらず、卸・小売業と飲食・宿泊業の悪化が目立つ。今後の見通しは、全業種で△54・3ポイント減少と悪化予想をしている。

<当地区コメント> 当地域の採算は、前年同期比で全業種△54.7ポイントと売上ほどではないが市内全体よりも悪化の事業所が多い。卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業は60ポイント以上がマイナスと回答している。観光関連業種の多い当地区では、冬期間が閑散期となることから今後の見通しでも悪化を示しており、卸・小売業、飲食・宿泊業は80ポイント以上悪化を予想している。

3. 仕入単価について

・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		25.9%	69.4%	4.7%	21.2	10.6	10.8
	製造業		17.4%	73.9%	8.7%	8.7	4.5	9.1
	卸・小売業		35.9%	53.8%	10.3%	25.6	28.2	12.8
	飲食・宿泊業		44.2%	53.8%	1.9%	42.3	23.1	26.9
	サービス業		15.4%	75.0%	9.6%	5.8	△ 3.8	△ 9.6
	全業種合計		29.3%	63.8%	6.9%	22.4	14.5	10.5
地域別 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		37.5%	62.5%	0.0%	37.5	25.0	12.5
	製造業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
	卸・小売業		53.3%	26.7%	20.0%	33.3	53.3	0.0
	飲食・宿泊業		41.2%	52.9%	5.9%	35.3	17.6	0.0
	サービス業		0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 37.5
	全業種合計		34.6%	53.8%	11.5%	23.1	21.6	△ 3.9

<全域コメント> 仕入単価は、前年同期と比べて、全業種で22・4ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業の上昇が目立つが、不変割合は63・8%ある。前期比では、サービス業では下降であるが、その他業種では上昇傾向である。今後の見通しでも、この傾向は変わらず、売上原価の上昇が見え隠れする。

<当地区コメント> 当地域の全業種仕入単価は、23.1ポイントと市内全体とほぼ同数であるが、サービス業以外は30ポイント以上が上昇と回答している。卸・小売業、飲食・宿泊業は秋の長雨による野菜の価格高騰が影響していると思われる。今後の見通しでは、卸・小売業、飲食・宿泊業において0ポイントと今期とあまり変動がないと予想されている。

4. 販売（客）単価について

・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		2.4%	77.6%	20.0%	△ 17.6	△ 18.8	△ 23.8
製造業		4.3%	78.3%	17.4%	△ 13.0	△ 22.7	△ 18.2
卸・小売業		6.4%	50.0%	43.6%	△ 37.2	△ 26.9	△ 37.2
飲食・宿泊業		1.9%	61.5%	36.5%	△ 34.6	△ 21.2	△ 34.6
サービス業		9.6%	69.2%	21.2%	△ 11.5	△ 13.5	△ 25.0
全業種合計		4.8%	65.9%	29.3%	△ 24.5	△ 20.8	△ 29.2
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		0.0%	87.5%	12.5%	△ 12.5	△ 12.5	△ 12.5
製造業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業		13.3%	40.0%	46.7%	△ 33.3	△ 33.3	△ 40.0
飲食・宿泊業		0.0%	58.8%	41.2%	△ 41.2	△ 23.5	△ 41.2
サービス業		0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 37.5	△ 62.5
全業種合計		3.8%	59.6%	36.5%	△ 32.7	△ 25.5	△ 37.3

<全域コメント> 販売単価は、前年同期と比べて、全業種で△24.5ポイントと減少。特に、卸・小売業と飲食・宿泊業の減少幅が目立つが、不変割合は65.9%ある。前期比でも、全業種で△20.8ポイントと減少し、今後の見通しでも、全業種で減少予想をしており、需要の停滞、消費動向の変化が見受けられる。

<当地区コメント> 当地域の販売単価は、前年同期比の全業種で△32.7ポイントとなっており、飲食・宿泊業とサービス業が市内全体より悪化している。不変回答も59.6%と市内全体よりも少なく、減少と回答している事業所が多い。特にサービス業の悪化が際立っており、今後の見通しでもサービス業は△62.5ポイントと悪化予想されている。

5. 資金繰りについて

・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		7.1%	67.1%	25.9%	△ 18.8	△ 10.6	△ 34.5
製造業		0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 18.2	△ 17.4
卸・小売業		5.1%	56.4%	38.5%	△ 33.3	△ 25.6	△ 35.9
飲食・宿泊業		1.9%	59.6%	38.5%	△ 36.5	△ 23.1	△ 50.0
サービス業		7.5%	73.6%	18.9%	△ 11.3	△ 13.2	△ 22.6
全業種合計		5.1%	65.4%	29.5%	△ 24.3	△ 17.9	△ 34.1
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	0.0	△ 37.5
製造業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	33.3	0.0
卸・小売業		6.7%	46.7%	46.7%	△ 40.0	△ 26.7	△ 40.0
飲食・宿泊業		0.0%	58.8%	41.2%	△ 41.2	△ 23.5	△ 41.2
サービス業		0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 33.3	△ 44.4
全業種合計		1.9%	62.3%	35.8%	△ 34.0	△ 19.2	△ 38.5

<全体コメント> 資金繰りは、前年同期と比べて、全業種で△24.3ポイントと悪化。特に、卸・小売業と飲食・宿泊業の悪化が目立つが、不変割合も65.4%ある。前期比では、全業種で△17.9ポイントと悪化。今後の見通しでも、全業種で△34.1ポイントと悪化予想している。特に、飲食・宿泊業の悪化予想は大きく、注視する必要がある。

<当地区コメント> 当地域の資金繰りは、前年同期比の全業種で△34.0ポイントで市内全体よりも約10ポイント悪化が多い。不変割合が62.3%となっているが、好転との回答はごく少数であり、3割を超える事業所で悪化と回答している。今後の見通しにおいても製造業以外の業種でマイナス予想されており、資金ショートする事業所が無いよう注視しなければならない。

6. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		増加 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		7.1%	76.5%	16.5%	△ 9.4	△ 14.1	△ 15.5
製造業		13.0%	78.3%	8.7%	4.3	14.3	△ 4.5
卸・小売業		3.9%	92.1%	3.9%	0.0	△ 1.3	0.0
飲食・宿泊業		1.9%	88.5%	9.6%	△ 7.7	△ 5.8	△ 15.4
サービス業		5.7%	88.7%	5.7%	0.0	△ 1.9	△ 5.7
全業種合計		5.5%	85.1%	9.3%	△ 3.8	△ 4.9	△ 8.7

地域別 全業種合計		増加 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		25.0%	50.0%	25.0%	0.0	△ 37.5	0.0
製造業		0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	33.3	0.0
卸・小売業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
飲食・宿泊業		0.0%	94.1%	5.9%	△ 5.9	△ 5.9	△ 11.8
サービス業		0.0%	77.8%	22.2%	△ 22.2	△ 22.2	△ 22.2
全業種合計		3.8%	84.9%	11.3%	△ 7.5	△ 9.6	△ 7.7

<全域コメント> 従業員数は、前年同期と比べて、全業種で△3.8ポイント減少であるが、製造業は増加であり、不変割合は85.1%である。前期比では、全業種で△4.9ポイントと減少であるが、製造業は14.3ポイントと増加。今後の見通しでは、卸・小売業以外は減少を予想している。

<当地区コメント> 当地域の従業員数は、前年同期比の全業種で△7.5ポイントであり、市内全体よりも悪化を示している。特に製造業とサービス業は市内全体の数値よりも大きくマイナスを示している。不変割合は市内全体とほぼ同数地であるが、サービス業においては今後の見通しも△22.2ポイントと減少予想されている。飲食・宿泊業も△11.8ポイントが減少予想されているがその他の業種は変動なしと予想している。

7. 景況判断について

・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		4.7%	45.9%	49.4%	△ 44.7	△ 32.9	△ 56.1
製造業		13.0%	52.2%	34.8%	△ 21.7	△ 22.7	△ 36.4
卸・小売業		1.3%	34.2%	64.5%	△ 63.2	△ 48.7	△ 68.4
飲食・宿泊業		7.8%	39.2%	52.9%	△ 45.1	△ 39.2	△ 58.8
サービス業		11.3%	50.9%	37.7%	△ 26.4	△ 26.4	△ 45.3
全業種合計		6.3%	43.1%	50.7%	△ 44.4	△ 36.2	△ 56.3

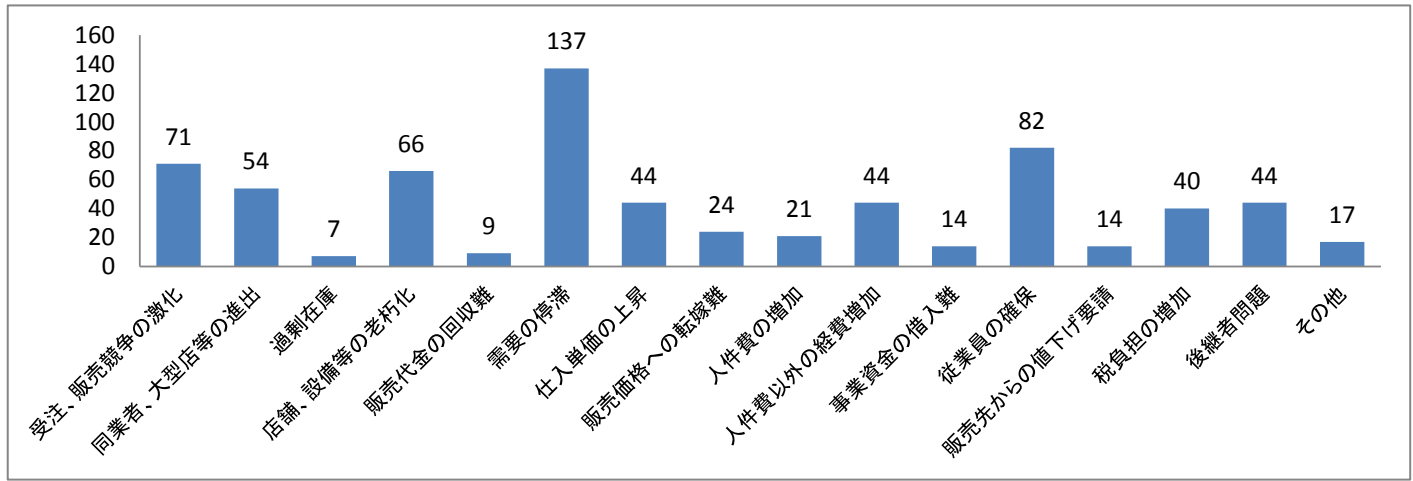
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
建設業		0.0%	12.5%	87.5%	△ 87.5	△ 37.5	△ 62.5
製造業		25.0%	75.0%	0.0%	25.0	33.3	0.0
卸・小売業		0.0%	35.7%	64.3%	△ 64.3	△ 28.6	△ 78.6
飲食・宿泊業		6.3%	31.3%	62.5%	△ 56.3	△ 62.5	△ 68.8
サービス業		0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 44.4	△ 66.7
全業種合計		3.9%	33.3%	62.7%	△ 58.8	△ 40.0	△ 66.0

<全域コメント> 景況判断は、前年同期と比べて、全業種で△44.4ポイントと悪化。建設業及び卸・小売業並びに飲食・宿泊業の悪化が目立つが、不変割合は43.1%ある。前期比でも、この悪化傾向は変わらず、今後の見通しについては、全業種で△56.3ポイントと大幅に悪化を予想している。

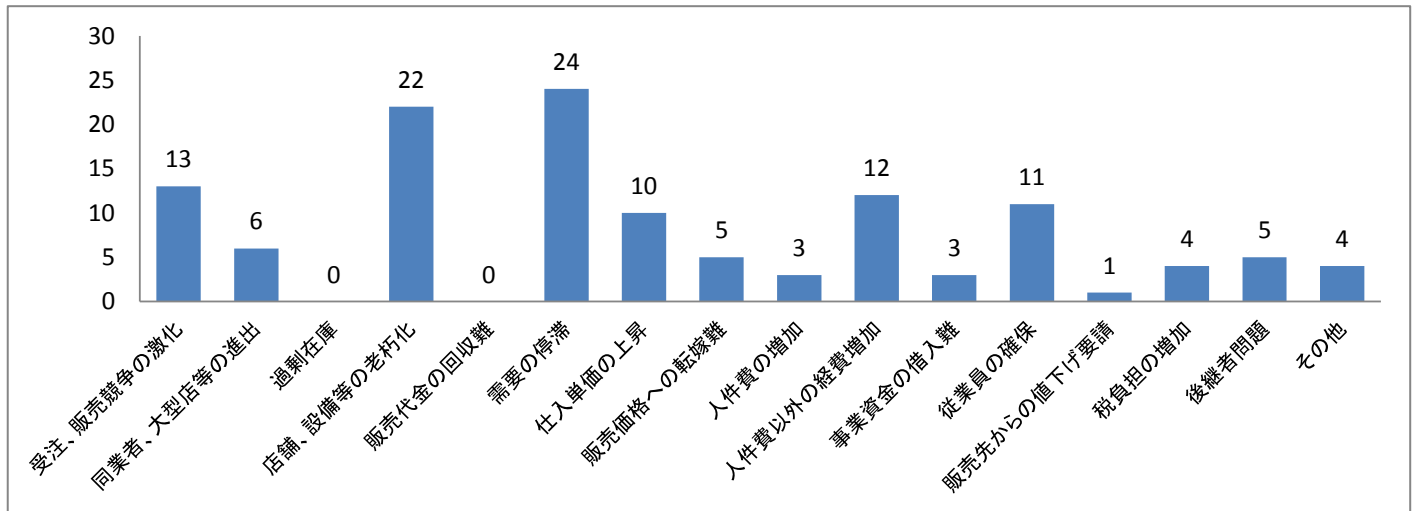
<当地区コメント> 景況判断は、前年同期比の全業種で△58.8ポイントと市内全体よりも悪化ポイントが高い。特にサービス業においては市内全体よりも40ポイント以上悪化と回答されており、大きな差が出ている。今後の見通しにおいても当地域の方が市内全体よりも悪化ポイントが高く、更なる悪化が予想されている。製造業以外の業種全てで10ポイント以上悪化が高く、サービス業においては20ポイント以上悪化予想されている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



＜全域コメント＞ 経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「受注、販売競争の激化」4位「店舗、設備等の老朽化」となり、前回調査との比較で、2位と3位が入れ替わった。

＜当地区コメント＞ 前回調査同様で「需要の停滞」が一番多く、次いで「店舗、設備の老朽化」となっているが、「受注、販売競争の激化」が3位となり、前回調査3位の「仕入単価の上昇」を超えた結果となっている。「従業員の確保」も前回4位であったが、「人件費以外の経費の増加」が今回調査では4位であった。

9. 後継者の状況について

- ・10月～12月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	37.6%	62.4%
製造業	58.3%	41.7%
卸・小売業	29.5%	70.5%
飲食・宿泊業	46.2%	53.8%
サービス業	27.3%	72.7%
全業種合計	36.7%	63.3%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	62.5%	37.5%
製造業	50.0%	50.0%
卸・小売業	20.0%	80.0%
飲食・宿泊業	52.9%	47.1%
サービス業	0.0%	100.0%
全業種合計	35.8%	64.2%

＜全域コメント＞

後継者の状況は、全業種合計で63.3%の事業所で後継者がいない状況である。特に、卸・小売業とサービス業では、70%以上の事業所で後継者がいない。次年度は、この状況を詳しく調査していく必要がある。

＜当地区コメント＞

今回調査の回答事業所は、第2四半期の回答事業所よりも後継者のいない事業所が多く、特にサービス業においては後継者無しが100%であった。市内全体よりも当地域の後継者無しの比率が高い結果となっており、今後、実態調査を実施して内容を把握したい。

10. 地域全体の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

<全域コメント>

【建設業】

今期の景況を前年同期と比較すると、すべての項目で悪化しており、売上の減少と売上原価の上昇で採算が悪くなっている。前期との比較でも、この傾向は変わらず、今後の見通しでは、2年続きの小雪の影響も相まって、更に悪化予想をしている。一方、経営上の問題点として、1位に「従業員の確保」2位「受注、販売競争の激化」3位「需要の停滞」4位「後継者問題」となっており、事業を継続する上で、人材の確保を考えている経営者が多く見られる。

【製造業】

今期の景況を前年同期と比較すると、すべての項目で悪化しており、売上の減少と売上原価の上昇で採算が悪くなっているが、先行きを見越して従業員数は増加している。前期との比較でも、この傾向は変わらないが、今後の見通しでは、世界的な政治・経済問題を加味し、不透明感が漂っていることから、すべての項目で悪化を予想している。又、経営上の問題点として「需要の停滞」が群を抜いている。

【卸・小売業】

今期の景況状況を前年同期と比較すると、仕入単価の上昇と販売単価の減少により、売上が大きく減少し、採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず悪化し、今後の見通しでも、大きく悪化すると予想しているので、注視していかななくてはならない。

経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注、販売競争の激化」となっている。

【飲食・宿泊業】

今期の景況状況を前年同期と比較すると、仕入単価が大きく上昇し売上原価を上昇させ、販売単価の減少も相まって売上が減少により採算も悪化した。前期との比較でも、この傾向は変わらず、厳しい経営状況が続いている。今後の見通しでは、更に悪化を予想しており、従業員の更なる解雇まで考慮していることが見受けられる。経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「仕入単価の上昇」となっている。

【サービス業】

今期の景況状況を前年同期と比較すると、仕入単価の上昇と販売単価の減少により、従業員数を除き各項目とも悪化している。前期との比較では、仕入単価は下降しているが、売上項目他が悪化し、従業員数も減少となった。今後の見通しでは、売上は△61.1ポイントと減少予想しており、益々厳しい経営を予想している。経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「店舗、設備等の老朽化」となっている。

以上業種別景況概要を踏まえると、全産業ベースで前年同期と比べ仕入単価の上昇と売上減少で採算が悪化していると言える。前期(夏)と比べても悪化傾向にあり、今後の見通しでは、更に厳しい状況になるとしている経営者が多いが、好転している企業もあり、先を見据えた人材確保を考えている経営者もいることは明るい材料である。

<当地区コメント>

【建設業】

当地域の建設業の状況は、前年同期比で大きく悪化している。全域コメントにもあるが、当地域の建設業は除雪を請け負っている事業所が多く、小雪による仕事量減少から見通しDIも悪化予想されている。

経営上の問題で1位になっている「従業員の確保」は除雪作業のオペレーターの高齢化にもつながっており、人材確保のための対策も考えて行かなければならない。

【製造業】

当地域の製造業は、採算で若干マイナスポイントを示しているが、その他の項目では0ポイントがおおく、地域内業種の中で一番安定している業種となっている。見通しDIをみても0ポイントが多く大きな変動はないものと予想される。

経営上の課題では、全域と同じく「需要の停滞」を問題としている事業所が多く、今後の動向に注視したい。

【卸・小売業】

当地域の卸・小売業の状況は、各項目すべてにおいて悪化ポイントとなっている。前期との比較でもマイナスポイントが出ており、悪化傾向が続いている。比較年は「プレミアム商品券」事業があった年でもあり、売上の減少率が大きいことも予想される。仕入価格の上昇傾向が続いていることもあり、採算の圧迫要因であると思われる。

経営上問題では「需要の停滞」「施設等の老朽化」が圧倒的に多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

当地域の飲食・宿泊業の状況は、卸・小売業と同様に前年同期比の項目全てで悪化を示している。今期までが昨年度の「プレミアム商品券」事業実施時期との比較となっていることと予想したい。見通しDIでは、冬期間の閑散期になることから今期よりも更に悪化が予想されている。

経営上も問題では、「店舗施設の老朽化」を挙げている事業所が圧倒的に多いが、売上の伸び悩みが設備投資につながらない要因であると思われる。

【サービス業】

当地域のサービス業の状況は、前期調査で予想されていたとおり、売上の減少や採算の悪化が顕著に表れている。前期の調査内容で一番安定していた業種であるが、今期は大きく悪化したように思われる。

経営上も問題でも回答されているが、後継者の無い事業所の回答率が100%となっており、事業所減少が懸念される。

松之山地域全体の今期の景況総括は、前期同様「悪化」回答が先行されていて厳しい状況が続いている。市内全体での回答内容と比較しても松之山地域の回答内容の方が悪化数値が高く、地域全体の経済活動が落ち込んでいることがうかがえる。

当地域の冬期間は閑散期となることから今後の見通しも「悪化」予想されており明るい兆しがなかなか見えてこないが、今年度実施した観光客満足度調査の集計内容を基に次年度事業を検討したい。